

2013年度

安全報告書(2014年)



蔵王温泉スキー場

普通索道	蔵王スカイケーブル(通年運転)
特殊索道	蔵王パラダイスペアリフトA・B線
	蔵王パラダイス第3ペアリフト
	ダイヤモンド第2ペアリフト
	蔵王菖蒲沼第1トリプルリフト(休止中)
	蔵王菖蒲沼第2ペアリフト

株式会社ヤマコー

ご 挨拶

平素は、蔵王温泉スキー場をご利用いただきまして誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さて、蔵王温泉スキー場は豊かな自然環境に恵まれており、世界的に有名な「樹氷」と湯量豊富な温泉および雪質抜群のパウダースノーのゲレンデ、そして、広大なゲレンデをつなぐ41基のロープウェイ・ケーブル・リフトなど、魅力いっぱいのスキー場であります。

その中で弊社索道は、樹氷原に隣接するパラダイスゲレンデ、初・中級者およびファミリー層向きの菖蒲沼ゲレンデ・ダイヤモンドゲレンデ・上の台ゲレンデで営業をしております。

また、夏期シーズンの蔵王スカイケーブルは、5月の新緑から、11月の初冠雪・霧氷群の誕生まで、蔵王中央高原・ブナ林のトレッキングおよび「ドッコ沼・不動滝」見学のアクセスとして、多くのお客様からご利用をいただいております。

そのような事業環境の中、索道事業者の最大の使命は「安全輸送の確保」であります。お客様を安全に、そして快適にご利用いただくため、日常の始業点検をはじめ、春季・秋季の営業運転を休止しての定期整備点検の実施・救助訓練の実施など、安全対策には万全を期しております。今年度は「運輸安全マネジメント評価」及び「国土交通省運輸局保安監査」が3月4日、5日に実施され、さらに安全意識が高まりました。

また、お客様の快適な滑走のため、圧雪車によるゲレンデ整備の徹底、ケーブル・リフトの乗降時の安全確認の励行など、再度お越しいただけることを念頭において業務に取り組んでおります。

本報告書は、平成25年度（2013年度）一年間の安全に対する取組みおよび当社索道事業部の事業活動をまとめたものです。

「継続は力なり」と申します。安全に対する取組みは継続して行うものであり、気づいたところから「改善」を図り、安全を最優先する企業文化をつくることが大切であります。

当社に対し、皆様からは是非ご意見ご要望をお寄せくださることをお願い申し上げます。変わらぬご利用ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

2014年 9月 吉日

株式会社 ヤマコー

取締役社長 平井 康博

1. 安全基本方針と平成25年度重点目標

(1) 安全基本方針

当社ではグループ行動基準を定めております。安全・安心そして快適をキーワードに「地域社会への貢献」「顧客満足度の向上」「企業価値の高揚」の3つを掲げ業務に取り組んでおります。

中でも、安全に対する取組みは最優先事項であり、索道事業では次の4つの行動規範を掲げ、輸送の安全確保に努めております。

- ① 私たちは、一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- ② 私たちは、輸送の安全に関する法令および安全管理規程をはじめ、関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 私たちは、常に輸送の安全の状況を把握し、職務の実施にあたっては、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は、最も安全と思われる取扱いをします。
- ④ 私たちは、事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに適切な処置をとります。

(2) 平成25年度重点目標

当社索道事業部では、例年冬期シーズン前に、職場内に設置している「安全衛生委員会」が主体となり、全従業員を対象に標語を募集し、安全に対する意識の高揚を図っております。夏期シーズンにおいても継続して実施し、安全の確保を最優先事項として業務に取り組んでおります。2013～2014の重点目標は下記の通りです。

- ① 「安全は 一人一人が責任者」
- ② 「ツライ日も 笑顔絶やさず プロの接客」

2. 平成25年度事故等発生状況

(1) 索道運転事故（索道人身傷害事故）

本年度は索道に関係する事故はありませんでした。

(2) 災害（地震・暴風雨・豪雪等）

災害による運転停止はありませんでした。ただし、安全確保のため、ケーブルおよび各リフトで強風・雷等の発生時に一時運転を見合わせた時間は、下記の通りです。

- ① 延べ日数 52日
- ② 延べ時間 54時間45分

(3) インシデント（事故の兆候）

平成25年度のインシデントはありませんでした。引き続き安全への取り組みを強化し、事故防止に努めます。

3. 安全確保への取り組み

(1) 教育訓練

当社では、グループ行動基準を実現するためには、人材育成が重要と位置づけており、社内・社外講習には積極的に参加し、索道技術の習得・向上に努めております。

平成25年度に受講及び教育した内容は下記の通りです。

社 内 教 育			
講 習 名	場 所	実 施 日	受 講 者 数
普通索道予備原動機操作訓練	スカイケーブル 中央高原駅	7月19日	6名
		12月20日	4名
スカイケーブル山麓駅停電時のクラッチ切替え訓練	スカイケーブル 上の台駅	11月21日	8名
予備発電機操作訓練	スカイケーブル 中央高原駅・上の台駅	1月4日	5名
予備発電機操作訓練	パラダイスリフト	1月29日	10名

社 外 教 育			
講 習 名	場 所	実 施 日	受 講 者 数
索道技術研修会 山形地区部会	山形市蔵王	7月 22・23日	1名
索道技術管理員等研修会 東北索道協会	仙台市	9月 2日・3日	1名
索道技術管理者研修会 東北運輸局	仙台市	9月 17日・18日	4名
管理監督者研修会 山形地区部会	山形市	11月12日	1名
雪上車安全運転と救急法 講習会、山形地区部会	山形市蔵王	12月 4・5日	2名
電気技術者研修会	山形市	3月6日	1名

(2) 救助訓練

当社では、冬期および夏期シーズンの営業運転開始前に、非常時を想定し、救助訓練等を実施しております。

救 助 訓 練			
講 習 名	場 所	実施日	参加者数
普通索道非常救助訓練	索道営業所 (スカイケーブル)	7月19日	6名
		11月21日	20名
特殊索道非常救助訓練	ダイヤモンド リフト	1月14日	7名
特殊索道非常救助訓練	パラダイス リフト	1月18日	16名



〔救助用具・点検〕



〔救助用具・取扱い指導〕



〔スカイケーブル・非常救助訓練〕



(3) 安全確保に伴う施策等

当社では、安全確保および設備の維持管理の徹底を目的に、各索道施設毎に整備計画を立て、下記の通り点検・検査・定期整備等を実施しております。

平成25年実施した主な整備等は下記の通りです。

索道名	設備名 (項目)	整備内容 (実施日)
スカイケーブル	春期定期整備	(25年6月2日～7月23日)
	線路：受索装置	解体検査整備 (受索輪、部品交換)
	保安設備	電磁接触器・継電器交換
	1年検査の実施	定期整備時に実施
	秋期定期整備	(11月5日～11月22日)
	原動設備	減速機振動測定
	出発・到着装置	握放索装置レール調整
	保安設備	脱索検出装置検査
	1年検査の実施	定期整備時に実施
搬器 (75台中43台)	(4月10日～12月8日 不定期) 握索機解体検査整備 (部品交換含む)	
ダイヤモンド 第2ペアリフト	線路：受索装置	受索輪交換(5輪) 支障木伐採
	原動緊張設備	減速機オイル交換
	握索装置	握索装置分解点検
	伝達装置	原動軸エンバールジョイント更新
	1年検査の実施	(5月31日・6月3,20,22日・10月30日・ 11月14日)
パラダイス ペアリフトA線	線路：受索装置	受索輪交換(43輪)
	線路：受索装置	受圧索装置解体検査(8号上り下り)
	原動緊張設備	主電動機冷却ファンベアリング交換
	搬器	タンク交換(No.1～42)
	1年検査の実施	(10月25・31日)
パラダイス ペアリフトB線	原動緊張設備	重錘室天板交換
	1年検査の実施	(10月25日・11月3日)
パラダイス 第3ペアリフト	原動緊張設備	油圧緊張装置作動油交換
	線路：受索装置	受索輪交換(8輪)
	1年検査の実施	(9月18日・10月1,2日・11月11日)
蔵王菖蒲沼 第2ペアリフト	線路：受索装置	受索輪交換(2輪)
	制動装置	非常用制動機ブレーキパッド交換
	主電動機	解体検査
	1年検査の実施	(6月18日・11月5,6,7日)

(5) 安全を確保する日常の点検等

- | | | |
|-------------|---|-----------------------------------|
| 始業点呼 | : | 毎日実施 |
| 始業点検・試運転 | : | 毎日実施（但し、定期整備時及びスキーシーズンオフ時のリフトは休止） |
| 年末年始輸送安全総点検 | : | 12月10日～1月10日 |

4. 当社の安全管理体制

当社では、輸送の安全確保のため、安全管理体制の最終責任者を社長とし、以下安全統括管理者、営業所所長、索道技術管理者および索道技術管理員を配置（別表1）しております。各々の役割・責任・権限は下記の通りです。

(1) 役割・責任・権限

- ① 社長 : 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
- ② 安全統括管理者 : 索道事業全般の輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
- ③ 営業所所長 : 安全統括管理者を補佐し、安全輸送の確保に関する業務をはじめ、労働災害、安全衛生管理等に関する業務を統括する。
- ④ 索道技術管理者 : 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理、その他技術上および係員教育等の事項に関する業務を統括する。
- ⑤ 索道技術管理員 : 索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を管理する。

5. ご利用の皆様へ

当社では、索道事業者として、安全の確保は当然の義務であり責任であるという考えから、「安全管理規程」の制定後、まず取組を強化したことは、現場重視の姿勢であります。

次年度に向けた課題は、事故の絶無を期して、現場はもちろんであります、安全に対する意識のたかまりを全社・全グループで共有する仕組みを構築し、実行することです。

そのためには人材の育成が大切であり、社員教育および日々の業務を通じて「輸送の安全の確保」の重要性を強調してまいります。

6. ご連絡先

本報告書についてのご感想、当社へのご意見・ご要望は下記まで連絡くださるようお願い申し上げます。

〒990-2301 山形市蔵王温泉794

株式会社ヤマコー 索道事業部

(蔵王スカイケーブル)

TEL 023 (694) 9420

FAX 023 (694) 9106

E-mail sky-c@yamako.co.jp

ユトリアグループ行動基準

1. 私たちは、ひとつひとつの出会いを大切にし、豊かなくらしと魅力ある地域づくりに貢献します。
地域社会への貢献
2. 私たちは、お客様の声に耳を傾け、安心と満足を提供します。
顧客満足度の向上
3. 私たちは、時代の変化に適応し、未来に挑戦しつづけます。
企業価値の高揚



社長

常勤役員会

安全統括管理者
 取締役索道事業部長
 兼 索道営業所長

技術管理者
 索道営業所次長

蔵王スカイケーブル担当

技術管理員
 索道営業所係長

蔵王スカイケーブル

運	駅	整
転	務	備
係	係	係

技術管理者
 索道営業所係長

ダイヤモンドリフト担当

技術管理員
 索道営業所係長

ダイヤモンド
 第2ペアリフト

運	駅	整
転	務	備
係	係	係

技術管理者
 索道営業所係長

パラダイスリフト担当

技術管理員 技術管理員
 索道係職 索道営業所副主任

蔵王パラダイス
 ペアリフトA・B線 蔵王パラダイス
 第3ペアリフト

運	駅	整	運	駅	整
転	務	備	転	務	備
係	係	係	係	係	係

技術管理者
 索道営業所
 技術担当チーフ

菖蒲沼リフト担当

技術管理員 技術管理員
 索道係職 索道係職

蔵王菖蒲沼
 第1トリプルリフト 蔵王菖蒲沼
 第2ペアリフト

運	駅	整	運	駅	整
転	務	備	転	務	備
係	係	係	係	係	係